

D

の騎士王

For
A
Only





さあ……！
着きましたよ。

……

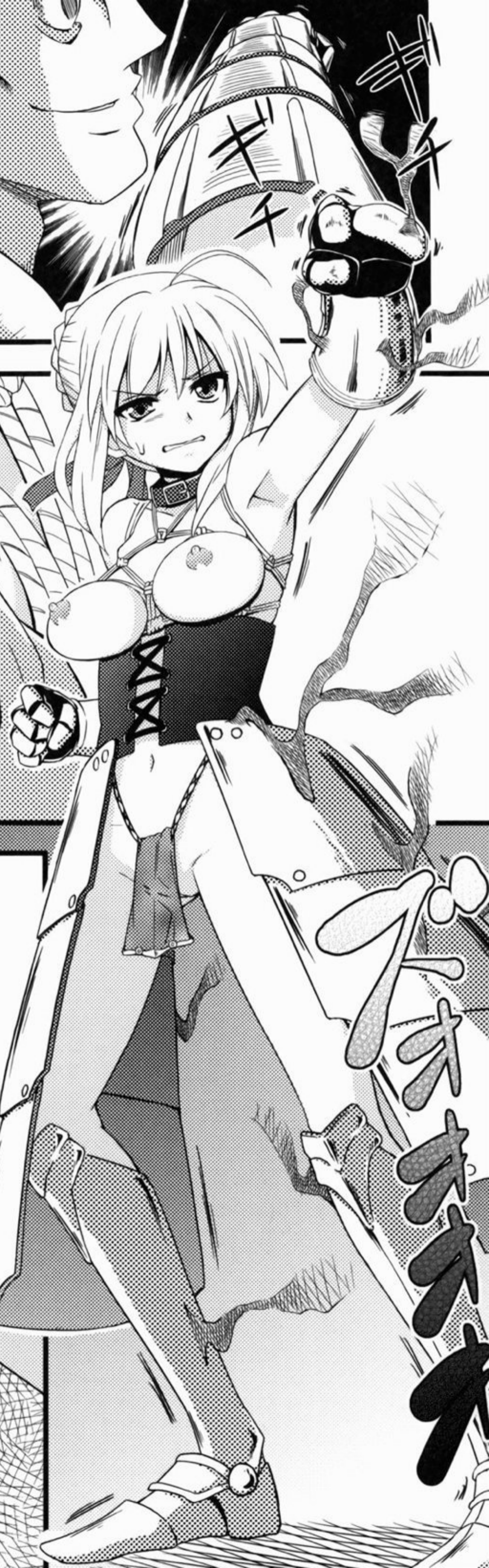


聖処女よ



この広場ならば
人目に触れやすく
目立つ事でしょう。
よろしいですか？

オホ





リュウノスケ
聞こえますか？

そちらの
方々は
お元気
ですか？

…ああ。
元気だと思っよ。
おっさんなんて
ずっと俺睨んでるし



わざわざ私の工房まで
御足労願っているのです。
丁重に持て成して
差し上げるのですよ。

聖処女もそのために
ここまで恥を捨てて
いるのですからねえ！
くくくっ！！

……



…はああああ…
そっちは
楽しそうっすねえ！
旦那もテンション
高いしさあー！

なんです？



いやあ…
こっちは退屈
なんすよねえ



その女が
『一人も殺すな！』だの
『指一本欠かすな！』だの
条件付けてそっちへ
行ってるもんでね！

こいつらに
酷い事できないし…
適当な暇つぶしも
飽きちまって
もうなんもやること
なくてさあ…

もう全然
楽しくないよ……



…すまない
リュウノスケ

理め合わせはいずれ
させてもらいますが……
今ばかりは私に
力を貸して欲しい

あははは!!
いやいいんすよ〜!
ちよつと
拗ねただけ♡

旦那には世話に
なってるし!
良い子に言うこと
聞きますよ〜?

フッフツ





おっと！
そうでしたねえ！
さてどうするか…



そーいや旦那に
頼まれてたアレって
もうやっちゃって
いいんすか？

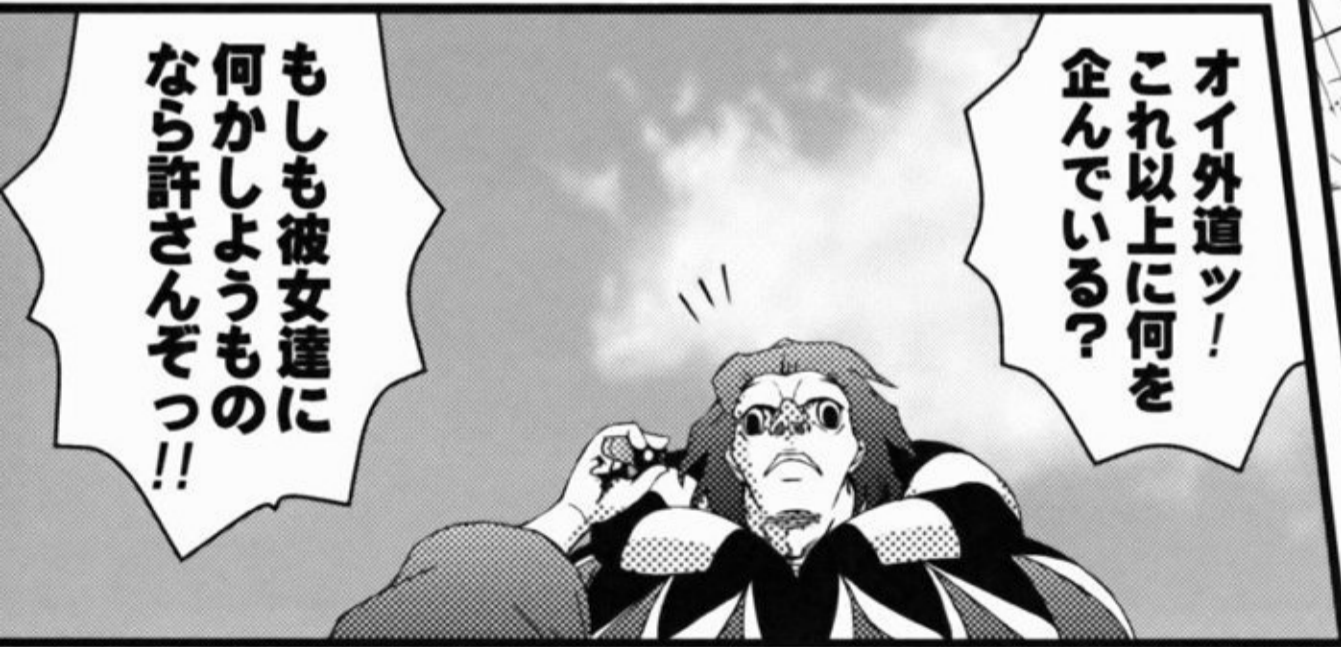


…ふむ。
やはりこのままでは
興味に欠けますね。
ではお願いします。

了解つす
ちよつと
時間下さい。



痛っ！



オイ外道ツ！
これ以上に何を
企んでいる？

もしも彼女達に
何かしようもの
なら許さんぞっ！！



クアッ

ご安心を。
約束はしっかりと
守りますよ？

いきなり
何を
貴様っ！！

あなたが
私のいいなりに
その身を差し出し

衆目にその
痴態を晒している
うちはねえ……

— 貴方は囷。
敗北をあからさまに晒した
哀れなサーヴァント。

それは雑魚どもを
釣り上げるための
極上の餌となりましょう—

そうして誘き寄せた
者共を我が計略の
元に一掃し……！
聖杯の力を持って……

ク
ク
ク

貴方は間違った
記憶を
全て失いつつ！！
真の記憶を
取り戻すのです!!!



何處へも...

アーン

あつ あつ
あつ いッ!!

ガーン

どこまでも...
身体も脳も
熱くなるのが
とまらないっ!!?

あ?
あぐっ...

な、なんだ?
急に身体が熱く...

あつ あつ

おやおや?
随分と早く
見捨てられ
ましたねえ

薄情な
マスターに
仕えておいでだ。
くくく!

なっ...
なんの事を
言っている?

ハア...

ハア...

『令呪』を用いて
単純な記憶を貴方に
刻んで貰いました。

なっ!?

生まれた瞬間から
一日欠かさず
快樂調教を受けた
肉欲の記憶をねえ!!

私の要望を
リュウノスケから
伝えたのですが
こうも早いとは…

身を呈する貴方が
さらに苦しむというのに…
実に守り甲斐のある
マスターのようですねえ

きりつぐ…

さて…先程までは
責められても
痛みばかりだったはず。

そこに快感を
知り尽くした
記憶を与えるか…
…どうなるか?

いんちきあーっ!!

なっ、なぜだ?
何故こんな
くだらん事に
令呪まで使う...!?

真の記憶が
戻るまで...
あなたのアーサー
などという記憶は
邪魔でしかない!!



それを私が肉欲で
焼き!!焦がし!!!
破壊して差し上げる
というわけです。



いんちき



んあーっ♡

強がって見せても
貴方の記憶が
尋常ではない快楽を
与えてくれるでしょう。

もっもっ



ほほお!
処女のまま
ここまで淫らに
なろうとは...!

ほらほら
もっと抗わなくては？
快樂に屈してしまっても
よろしいのですか？
あーさー王？

えっ…?!
えっ…?!
えっ…?!

ここがどうか
しましたかな？



くくくっ
これだけ反応が良いと
ついやりすぎて
しまいそうです。



何か
こみあげま



おっと
イカせてしまっ
ところでした

貴方が肉欲の
虜となり従順に
なるまで…

『絶頂』は
褒美として
とっておき
ましようね。



ぜっ…

ちよっつ？



『絶頂』を
ご存知なさそう
ですねえ？

目線キ

このように
貴方の性感を
高め続けると……！

ちゅ
ちゅ

ガ
リ

物
物

おっと！
またギリギリまで
やってしまった

どうです？
いま貴方の身体が
猛烈に求めている感覚
それが『絶頂』です

たまらない
ものでしょう？

キ
キ

きっ……汚いものを
……見せるな……っ！！

見てください
貴方の痴態を見て
私もこのように
興奮して
しまいました。

そういうわりに……
目線は釘付けの
ようですねえ？

ふふふ！
これがどれだけの
快樂をもたらす物か……
偽りの記憶が教えて
くれるのでしょうか？

う……

ブ
ム

貴方がちゃあんと
おねだりをすれば
コレを与えても
良いのですがねえ

おっ

おねだり…
……だど?

この往来でひざまずき、
尻を突き出し、
両手で陰部を見せつけ
懇願の言葉を囁くのです。

ばっ…
ばっ…
ばかな!!

何をためらうのです?
こんなに身体を火照らせて
もう我慢も限界でしょう?

ペニスで
膣を子宮を犯され
イキ狂いたくて
仕方がないでしょう?

んん?

なんと
言いました?



あ、頭が狂おうと…
身体が狂おうと…

私が欲望に
屈することなど
ない……っ!!

まじっ!!

記憶も身体も
肉欲に堕ちてなお
抗い続ける信念!
誇り!根性!

やはり貴方は
聖処女に
相違ない!

…では方法を
変えましょう
これから魔獣に
観衆を皆殺しに
させます。

んなっ!?
やめろお!!!

ですが…
私のペニスを
丹念に舐め回し

味わい

処女を捧げる
というのなら

やめましょう。

ウンです。

わ…わかった

やろっ…

くっく。
イメージを
しましたね？

頬張った
ペニスの感触を!!
突き破られる
膣の官能を!!!

条件は変わっていません。
おねだりができるまで
永遠にその肉欲が
満たされる事はありません。



いやだ...

アッアッアッ

ふんふん

お

グチTTTTTT

**あーっはっはっ
はっはっはっ!!!**

言葉と
行動が
合っていない
せんねえ?





処女膜の間から
だらだらと愛液を
垂れ流して…
発情しているのが
丸分かりですよ？



未使用の陰部を
そのように
曝け出して
みっともない



そ、そっちは
ちがつ…！

ちゃんとおねだりが
できなかつた
いけない貴方には
こちらで十分でしょう？



しかしまだ
懇願の言葉を
聞いていない
のですが…おや？



はっはっは!!
いよいよ我慢できず
地面と事を
始めましたか!!

…仕方が
ありませんねえ



もっとも
処女を奪うつもり
など最初から
ないのですが…

ねっ

さあ処女のまま
尻穴の快楽を
醜く貪るのです!!

あ

あ

アムン

アムン

アムン

アムン

衆目にさもない
貴方の醜態を
全て晒すのです!!!

清楚なまま
どごまでも
穢れるのです。

あ

アムン

アムン



さあ貴方の待ち望んだ
絶頂を上げましょう!!
私の精を受けながら
イってぐらんなさい!!!







END



あれ!?!
金髪の令呪が
消えたんだけど
なんでこれなんで!?

おやー?
どこで
しくじったのやら。

まあまあ
気を落とさないで。
次がありますよ。

60年後
ですけど。

この本を手にとっていただき
ありがとうございます。

Fateは学生時代から好きだったんですが
まさかFate/zeroがアニメ化されて
再びクローズアップされるとは思いませんでした。

当時もFateブームの折、同人誌が次々出てきて、
読み手として楽しんだものでしたが
自分はその頃コンビニでコピー誌を
20~30部程度刷り、地元のイベントにこっそり置い
ておいた程度の活動しかしていなかったもので
その同人ラッシュには参加できずにいたんですよ。

しかし今ならばエロ同人誌も三冊目ですし
頼れる印刷所もあり！本を置いてくれる委託先もあり！
満を持してこのFate/zeroのビッグウェーブに
乗ることができる！…といいなーと思っています。

今回のセイバー本ではセイバーに焦点を絞ったので
リュウノスクに捕まってる三人の描写は極力減らしましたが
あっちのエロも見たい！という声があれば
今度はセイバー・アイリ・舞弥・幼イリアの四人を絡めた
内容で描いてみるのもいいですよ。
しかし幼桜でもひとつネタがあるので
次回何を描くか非常に悩むところです。

さて、こんな後書きにまでお付き合いをいただき
本当にありがとうございました。
よかったらブログコメントでもpixivコメントでも
どこからでもいいので感想などいただけると嬉しいです。
それではまたどこかで！

紅唯まと

発行	深爪貴族 紅唯まと
発行日	2012/12/31
印刷	SUN GROUP
ブログ	http://akaimato.blog.fc2.com/
連絡先	akaimato@gmail.com
pixivID	3043235

やれやれ：
貴方は大事な
ことをもう
忘れてる。

ひとつつめに…

いまその鎧は
貴方ではなく
私を守るために
魔力で操作されて
いること…



ゆな

ゆな



着きましたよ。

—そして
ふたつめに…

なな



Dの騎士王

「命」を用いて
単純な記憶を貴方に
刻んで買いました。

なっ!?

生まれた瞬間から
一日欠かさず
快樂調教を受けた
肉欲の記憶をねえ!!

あ、頭が狂おラと…
身体が狂おラと…

うず
うず

私が欲望に
屈することなど
ない…っ!!

